

平成3年9月26日

## 豊島区長崎保健所

### 管内食中毒発生5年間0件を達成

豊島区長崎保健所(長崎3-6-24・関口恒夫所長)は、この16日で、管内での食中毒5年間無事故を達成した。同保健所では、「食中毒の潜伏期間は長いものでは10日間」ということで、10日後の26日を待っての発表となった。5年間無事故という記録は、都内71保健所の中でも上位にランクされる(注)。ちなみに最長記録は、9年目に入った中野区中野北保健所(更新中)。

長崎保健所の管内には、約39000世帯・82000人が住んでいる他、西武池袋線の椎名町駅、東長崎駅、地下鉄有楽町線の要町駅、千川駅があり、それぞれの駅前には中小いくつもの商店街・飲食店街が広がっている。

その中で達成したこの記録の陰には、地元の商店主や飲食店主などで構成する豊島長崎食品衛生協会(加藤永作会長・要町2-14-1・電話3957-4953)による徹底した自主検査や、同保健所の努力、さらには両者の類い稀な連携の良さがあるという。

食中毒の発生が大きな問題になっている昨今、久しぶりにほっとできる話題である。

#### [参 考]

同保健所管内での最後の食中毒発生は、昭和61(1986)年9月17日。一般家庭のおにぎりを原因とする黄色ブドウ球菌による事故。14名発病。

同保健所での過去の無事故記録は、昭和38(1963)年5月24日から昭和42(1967)年9月8日までの約4年3ヶ月。

(注) 都内71保健所の中では、おそらく第2位であろうと思われませんが、100%の裏がとれませんでした。東京都に照会しましたが、すぐには確認できないようです。

問合せ 長崎保健所 衛生課